

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	看護技術の統合	1	30	15	3年次・ 第1・2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目的	看護実践能力の強化をめざす。臨床の看護実践に近い方法で看護について学び、卒業後の看護業務遂行の円滑化をはかる。						
授業概要						時間	展開方法
1. 臨床実践能力 1) 事例提示・検討 (1) 根拠に基づく看護過程の展開 ・症状のアセスメント (2) 事例より技術演習項目の抽出及び計画立案・実施 ・症状緩和 2) 事例における状況判断した安全・安楽な援助 (1) 日常生活援助技術 【演習】 (2) 治療処置別援助技術 【演習】 3) 客観的臨床能力試験(OSCE) 2. 複数患者に対する援助の優先順位の考え方と時間管理 【演習】 1) ケアの調整 2) タイムマネジメント 3. 評価						14H	講義
						1H	
						14H	
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験 OSCE(客観的臨床能力試験)						
テキスト	なし						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	医療安全を守る技術 I	1	15	8	2年次・ 第2学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目的	医療安全に関する基礎的な知識を学び、事故を予防するための原則について理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 医療安全とは 1)看護における医療安全とは 2)医療安全対策の法的位置づけ 3)医療事故等の定義・分類 2. 事故防止の考え方について 1)医療事故と看護業務 2)看護事故の構造 3)看護事故防止の考え方 4)事故分析 (1)4M-4E (2)SHELLモデル (3)根本原因分析(RCA分析) 3. 診療の補助の事故防止 1)患者に投与する業務における事故防止 2)継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 4. 療養上の世話の事故防止 5. 業務領域を超えて共通する間違いと発生要因 6. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、看護の統合と実践②医療安全、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	災害看護	1	15	5	3年次・第1学期	<input type="checkbox"/> 外部講師 <input checked="" type="checkbox"/> 学内講師	
講義目的	世界の看護に視野を置き、国際的視点で医療・看護を考えることができる。災害看護や国際協力の実際を学び、看護の国際貢献についての基礎的理解を深める。						
授業概要						時間	展開方法
1. 災害の歴史と災害医療 1)災害の歴史 2)災害医療 3)災害に関する法律や制度 2. 災害看護の定義と役割 3. 災害サイクルに応じた看護活動 1)急性期・亜急性期 (1)被災地の病院での活動 (2)避難所の立ち上げと看護活動 (3)援助活動の実際 (4)トリアージ 【演習】 2)慢性期・復興期 4. 被災者特性に応じた災害看護の展開 5. 被災者及び援助者の心理 6. 世界の健康問題の現状 7. 国際看護の基本理念 8. 国際協力のしくみ 9. 評価						10H 4H 1H	講義
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、災害看護・国際看護、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	看護管理	1	30	15	3年次・ 第1・2学期	<input type="checkbox"/> 外部講師 <input checked="" type="checkbox"/> 学内講師	
講義目的	チーム医療・看護ケアにおける看護師としての調整とリーダーシップ、マネジメントのための基本的な知識を学ぶ。看護管理を学ぶことにより、幅広い知識の総合性や深い専門性、高い管理能力の重要性を認識し、看護の発展に貢献できるための資質について考える。						
授業概要						時間	展開方法
1)看護管理学とは 2)マネジメントとは 3)看護におけるマネジメント						15H	講義
2. 看護ケアのマネジメント 1)ケアのマネジメントと看護職の機能 2)患者の権利と尊重 3)安全管理 4)チーム医療 5)看護業務の実践(日常業務のマネジメント) (1)複数患者に対する援助の優先順位の考え方と時間管理 ①ケアの調整 ②タイムマネジメント						14H	
3. マネジメントに必要な知識と技術 1)組織とマネジメント 2)リーダーシップとマネジメント 3)組織の調整 4)組織と個人							
4. 看護サービスのマネジメントと実際 1)看護サービスのマネジメントと実際 2)組織目的達成のマネジメントと実際 3)看護サービス提供のしくみづくり 4)人材のマネジメントと実際 5)施設・設備環境のマネジメントと実際 6)物品のマネジメントと実際 7)情報のマネジメントと実際 8)組織におけるリスクマネジメントと実際 9)サービスの評価							
5. 評価						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、看護の統合と実践①、看護管理、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	在宅看護演習	1	30	15	2年次・ 第1.2学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目的	在宅看護に必要な日常生活援助技術、指導技術、家庭での治療に伴う処置技術を習得する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 在宅看護の基本技術 1)初回訪問時の面接技術 2)面接時の心構え 3)訪問時のマナー 2. 在宅看護における安全の確保 1)感染防止 2)医療事故防止 3)災害時の対応 4)権利保障 3. 在宅看護の日常生活援助技術(在宅で生活を可能にするための工夫) 1)食事の援助 2)排泄の援助 3)移動動作の援助(入浴介助) 4)睡眠の援助 5)清潔・衣生活の援助(洗髪) 4. 在宅における医療管理を必要とする人の看護 1)医療行為に伴う実施上の留意点 2)在宅で行われる医療行為に伴う技術 (1)褥瘡の予防とケア (2)経管栄養法と胃ろうの管理 【演習】 (3)在宅中心静脈栄養法の管理 (4)膀胱留置カテーテルの管理 (5)自己導尿の指導 (6)在宅酸素療法の管理と指導 (7)在宅人工呼吸器の管理と指導 (8)吸引の指導 (9)スタンダードプリコーション 感染性廃棄物の取り扱い 3)在宅で療養する子どもへのケア 5. 評価						29H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、在宅看護論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	在宅看護援助論Ⅱ	1	15	8	2年次・第2学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 校内講師	
講義目的	在宅の事例をもとに在宅看護の実際を学ぶ。また、終末期事例を取り上げ看護展開し、在宅における終末期看護の実際を学ぶ。(看護過程の展開)						
授業概要						時間	展開方法
1. 事例を用いた在宅看護の展開						14H	講義
1)在宅で療養する慢性疾患のある人へのケア (1)慢性閉塞性肺疾患をもつ療養者(老年) ①状態のアセスメントと状態に合わせた対応・調整 ②療養者・家族のセルフアセスメント力を高める支援 ③急性増悪の早期発見と対応 ④社会資源の活用・調整 (2)ALSで人工呼吸療法を実施する療養者(成人) ①状態のアセスメントと状態に合わせた対応・調整 ②難病療養者・家族のセルフアセスメント力を高める支援 ③急性増悪の早期発見と対応 ④社会資源の活用・調整 2)在宅で療養する身体に障害のある人へのケア (1)脳卒中後遺症のある療養者(成人・老年) ①在宅リハビリテーション ②機能障害と在宅の生活アセスメント ③合併症の予防と対応 ④社会資源の活用・調整 3)在宅で療養する終末期を迎えた人へのケア (1)肝がん終末期にある療養者(成人・老年)の看護の展開 ①症状マネジメント ②終末期緩和ケアの実際 ③看取りの看護 ④家族へのグリーフケア							
2. 評価						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、在宅看護論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	在宅看護援助論 I	1	15	8	2年次・ 第1学期	☑外部講師 □学内講師	
講義目的	在宅ケアアセスメント・ケアプランについて理解し、在宅看護の進め方、援助関係成立の過程を理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. ケアマネジメント 1)ケアマネジメントとは 2)ケアマネジメントのプロセス 3)ケアマネージャーの活動とは 4)看護職とケアマネジメント能力 2. 在宅看護における看護展開方法 1)在宅看護過程展開の特徴 (1)対象者の把握方法 (2)環境や家族への視点 (3)生活を支える制度・支援体制の理解 2)在宅看護のケアプラン作成方法 (1)基本的情報収集項目とアセスメント(初回訪問) (2)在宅ケア上の療養生活問題及びニーズの明確化 (3)ケアプラン作成にあたっての目標と優先順位の判断方法 ・居宅サービス計画書との整合性 (4)ケアプラン作成 (5)モニタリング (6)再アセスメントとケアの終了 3)他職種との連携 (1)在宅における連携の特徴 (2)医師との連携 (3)介護保険の社会資源との連携 (4)その他の社会資源との連携 (5)ネットワークづくり (6)入退院時における医療機関と訪問看護の連携 4)在宅看護の評価 (1)ケアプランからの評価 (2)評価表の効果的な活用 (3)「訪問看護評価基準」に基づく評価表 3. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、在宅看護論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
統合	在宅看護概論	1	15	8	2年次・ 第1学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目的	地域を基盤として行うシステム化された専門的なサービス活動の対象、範囲、責任を学ぶ。在宅看護の特徴、在宅看護の歴史的役割と課題についても学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 在宅看護の目的 (1)定義と位置づけ ①地域看護 ②在宅看護 ③訪問看護 (2)在宅看護の目的とは 2)役割と機能 (1)在宅看護の必要性 ①現在社会の変化(医療・福祉・保健の変化、家族の変化) (2)在宅看護と医療施設内看護の比較 (3)在宅看護における継続看護の意義 (4)在宅看護の特性 2. 在宅看護の対象の理解 1)対象者の特性 (1)地域の特性 (2)個人の特性 (3)健康レベル 2)在宅看護と家族 (1)家族とは (2)現在家族の特徴 (3)家族の機能 (4)家族を理解するための諸理論 ①家族システム理論 ②家族危機理論 ③家族発達理論 3. 社会資源と関係職種 1)社会資源とは 2)社会資源の活用 3)専門職との連携 4. 在宅看護を支えるシステム 1)保健・医療・福祉機関の種類と内容 2)訪問看護と制度 3)介護保険制度とは 4)ケアマネジメントと訪問看護 5. 在宅看護の変遷と課題 1)我が国の在宅看護の歴史 2)諸外国における在宅看護 3)問題と今後の課題 6. 在宅看護の倫理と基本理念 7. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、統合分野、在宅看護論、医学書院						
副読本							
備考							